2019年（令和元年）１１月１日発行　第１４６号

寒さの中に温かさを！

花屋を身近に

香彩・新聞

発行：(有)kyo-sai.代表　川邊　泰史　札幌市東区北12条東11丁目２－１４
電話：FAX０１１－７３１－８７８３　ホームページhttp://kyo-sai.co.jp

人生に花を

一人一人に輝く花がある

自分を大切にする事が周りを元気をする事へ繋がる

先月お世話になった方からお誘いをうけて集まりの場に顔を出す事がありました。そこで同じ東区の北洋建設の会長さんとお会いしました。知っている方もいると思いますが、テレビなどでも紹介されている建設会社さんです。積極的に元受刑者さんなどの社会復帰に向けての雇用や支援をしていて、僕も「ザ・ノンフィクション」での放送を見た一人です。会長さんの息子さん、小澤輝真社長は僕も同じような歳と、兄の後輩にもあたる方だったのでお話も聞いておりました。難病を抱え、余命宣告もあり、残された時間の中で自分が何を出来るかを常に考え凄いパワーで今の時間を過ごされております。著書も読みましたが、自分に起こった事、家族、仕事の仲間、そしてこれから生きていく罪を犯してしまった人間に対しての考え方など・・僕は何をしているのか？とも思いましたが、自分に出来る事を、そして限られた時間を僕なりに充実していけるようにと思いました。きっとみんな何かあるよね。

産地に２

先月も書きましたが、自然災害がまたも続き、これからはいつ、どこで何が起きても不思議じゃないです。僕らも花という生き物を販売しているので何か起きると必ず影響を受けます。価格が高くても、あるだけマシと思うような時もあります。必要な物が多くなる世の中で便利を求めた僕らは時に不便や苦しい想いを誰かが受けます。次の世代に残す物考えたいですね！

普段の風景に彩り

特別じゃない時にもお花を飾る方がいます。そう食卓や玄関、リビングなど生活で目にする場所に！お花があることによって何が変わるかは人それぞれですが、お客さんは「お花が無いと寂しいのよ」と言います。僕も思います。花は無くても良い物ですがあると気持ちや心が自然と少し変われるものだと思います。音楽もそうですが、気分を良くしたり、やる気にさせたり、自分を少し元気にしてくれる存在にお花がなれている事に嬉しく思います。どんなお花を飾ったら良いかは色や季節、気持ちによって変わると思いますが、まずは可愛いと直感で思った物をお勧めしますよ！お花のある生活素敵だよ！

合わせてる

子供達（娘二人）は本当に仲が良くて、僕も兄弟はいるけど羨ましいぐらいです。お互いの服を交換したり、化粧したり、お出かけしたり。どっちが合わせているのか同じような好きな事が多い二人です。人に合わせる事は簡単な事じゃなく、夫婦でも友達でも合わない事も多々あります。ちょっとだけ相手に合わせて同じ時間を共有する気持ち大切ですよねー。僕も努力が足りない所ですが・・・お花はお客さんの好みに合わせられるように全力ですよ！

1詳しい情報は札幌カワイイ花屋で検索してHPなども見てね！お花の注文もできるよ！